

看護師負担軽減及び処遇の改善に資する計画（2025年度）

※当院では、看護職員の負担軽減と処遇改善のために、看護職員の勤務状況を把握し、業務改善や病院全体としての協力体制をつくり、一体的な業務改善タスクシェアを推進することを目的とし、2025年度の茂原中央病院 看護師負担軽減及び処遇の改善計画について以下の事項を進めて参ります。

改善計画

項目	現状・課題	対応指針		2025年度 具体的計画	新規/継続	評価		
看護職員と多職種との業務分担	多岐にわたる業務により看護ケアや業務に専念できないことがある	多職種との協働により看護ケアが実践できる時間を確保する	薬剤部	・ 定時薬のセットの確認業務 ・ 月～土の定時の高カロリー輸液ミキシング業務	継続			
				・ 持参薬確認業務の実施 ・ 注射薬剤のセット業務の実施	継続			
			検査技師	・ 病棟入院患者 翌日の検査容器作成と配布	継続			
					リハビリ	・ 摂食困難患者への食事サポート ・ 感染対策のため病棟内でのリハビリ実施 ・ 看護部職員に対してのトランスファーなどの研修	継続	
			予約入院時のサポート	医事課 入院係	・ 予約入院患者の入院棟へのご案内	継続		
			外部委託による業務の効率化	その他	・ 業者委託によるリネン・タオルの管理 ・ 入院アメニティセットの説明	継続		
看護配置補助者の	配置人数の不足	欠員を補充し実状に合った配置を行う		・ 新卒常勤者3名採用目標 ・ 定年後の再雇用の推進	継続			
	夜勤帯業務の負担	夜間の配置により業務の負担軽減		・ 当直勤務者確保の推進	継続			
妊娠・子育て 職員に対する 配慮中の	妊娠中・子育て中は夜勤が負担となる	夜勤免除制度の活用を推進し負担を軽減する		・ 勤務調整申請を活用	継続			
	育児の時間の確保が困難	育児短時間制度の活用を推進し負担を軽減する		・ 育児短時間制度の活用 現在、利用者4名	継続			
	育児中の看護師が安心して預けられる環境が必要	24時間保育による育児サポートによる負担軽減		・ 24時間保育室の確保	継続			
	家族の体調不良時の対応の負担	半日・時間単位休暇制度		・ 時間単位とした子の看護休暇の取得（小学3年生まで） ・ 時間単位とした介護休暇の取得	新規			
看護業務の負担軽減	夜間少人数により急変時の対応が困難	夜間急変時要員を集中させ負担を軽減する		・ 夜間業務量の把握 ・ 夜間責任者による部署間応援体制の整備	継続			
	夜勤業務による身体への負担	夜勤ガイドラインに基づく勤務体制の維持継続		・ 夜勤と夜勤までの間は72時間以上あける ・ 勤務と勤務の間隔を24時間以上あける	継続			
	交代勤務により時間が不規則	休憩時間を十分とれるよう		・ 勤務と勤務の間隔を24時間以上あける	継続			

看護師負担軽減及び処遇の改善に資する計画（2024年度）

※当院では、看護職員の負担軽減と処遇改善のために、看護職員の勤務状況を把握し、業務改善や病院全体としての協力体制をつくり、一体的な業務改善タスクシェアを推進することを目的とし、2024年度の茂原中央病院 看護師負担軽減及び処遇の改善計画について以下の事項を進めて参ります。

改善計画

項目	現状・課題	対応指針		2024年度 具体的計画	新規/継続	評価
看護職員と多職種との業務分担	多岐にわたる業務により看護ケアや業務に専念できないことがある	多職種との協働により看護ケアが実践できる時間を確保する	薬剤部	・ 定時薬のセットの確認業務 ・ 月～土の定時の高カロリー輸液ミキシング業務	継続	効果あり 業務継続
				・ 持参薬確認業務の実施 ・ 注射薬剤のセット業務の実施	継続	効果あり 業務継続
			検査技師	・ 病棟入院患者 翌日の検査容器作成と配布	継続	効果あり 業務継続
			リハビリ	・ 摂食困難患者への食事サポート ・ 感染対策のため病棟内でのリハビリ実施 ・ 看護部職員に対してのトランスファーなどの研修	継続	効果あり 業務継続
		予約入院時のサポート	医事課 入院係	・ 予約入院患者の入院棟へのご案内	継続	効果あり 業務継続
		外部委託による業務の効率化	その他	・ 業者委託によるリネン・タオルの管理 ・ 入院セットの説明	継続	効果あり 業務継続
看護の配置補助者	配置人数の不足	欠員を補充し実状に合った配置を行う		・ 新卒常勤者2名採用目標 ・ 定年後の再雇用の推進	新規	効果あり 業務継続
	夜勤帯業務の負担	夜間の配置により業務の負担軽減		・ 当直勤務者確保の推進	継続	効果あり 業務継続
職員に対する配慮	妊娠中・子育て中は夜勤が負担となる	夜勤免除制度の活用を推進し負担を軽減する		・ 勤務調整申請を活用	継続	効果あり 業務継続
	育児の時間の確保が困難	育児時短制度の活用を推進し負担を軽減する		・ 育児短時間制度の活用 現在、利用者2名	継続	効果あり 業務継続
	育児中の看護師が安心して預けられる環境が必要	24時間保育による育児サポートによる負担軽減		・ 24時間保育室の確保	継続	効果あり 業務継続
夜間における看護業務の負担軽減	夜間少人数により急変時の対応が困難	夜間急変時要員を集中させ負担を軽減する		・ 夜間業務量の把握 ・ 夜間責任者による部署間応援体制の整備	継続	効果あり 業務継続
	夜勤業務による身体への負担	夜勤ガイドラインに基づく勤務体制の維持継続		・ 夜勤と夜勤までの間は72時間以上あける ・ 勤務と勤務の間隔を24時間以上あける	継続	効果あり 業務継続
	交代勤務により時間が不規則	休憩時間を十分とれるよう		・ 勤務と勤務の間隔を24時間以上あける	継続	効果あり 業務継続